

授業科目名	在宅看護Ⅱ			担当教員	西村 和美、西尾 美登里、 上野 満里	
開講年次	3 年前期	セメスター	5	時間数(単位数)	30 (1)	
必修選択	必修	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	在宅ケアチームの一員としての看護の役割を理解し、在宅で提供する看護の基礎的な技術を習得する。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 訪問看護における訪問・面接技術・マナーについて習得し、療養者・家族との信頼関係形成の重要性を考えることができる。 2. 在宅看護における看護過程の特質を理解し、演習事例の看護計画の立案、実施（ロールプレイ）、評価、修正まで実施できる。 3. 在宅ターミナルケアを取り巻く背景や意思決定への支援、家族への支援を説明できる。 4. 在宅療養を支える社会資源について理解し、看護の継続性や連携の重要性を理解できる。 					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	<p>本科目は、在宅看護Ⅰ（2年後期）で学んだ知識をもとに演習を実施し、地域で生活する療養する人々とその家族が抱える生活上の課題に対する看護職の「問題解決力」や多職種との連携の重要性を学修する。在宅看護実習（3年後期）に直接的につながるものである。また、地域で生活する療養者と家族の看護を考える上で、2年後期科目「地域看護Ⅰ」や3年前期科目「地域看護Ⅱ」「保健医療福祉行政論」とも関連が深い。</p> <p>在宅ターミナルケアの内容は、2年前期選択科目「緩和ケア」の知識を踏まえると理解しやすい。</p>					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
		○		◎		
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	在宅看護に必要な基礎的技術の内容と習得方法について理解する	講義	○ 予習：在宅看護Ⅰ復習 (在宅看護Ⅰノート持参) ○ 復習：在宅での看護技術	30分 30分	西村	
2	在宅療養における社会資源について	講義	○ 予習：在宅看護Ⅰ復習 ○ 復習：退院支援・調整、 ケアマネジメント (ノートのまとめ)	30分 30分	西村	
3	在宅療養における看護過程の展開技術について	講義 演習	○ 予習：在宅看護論②の p17-24 を熟読、在宅看護Ⅰ復習 ○ 復習：在宅での看護技術	30分 30分	西村	
4	訪問看護技術を学ぶ －演習オリエンテーション－	講義 演習 (GW)	○ 予習：在宅看護論②の p26-41 を熟読 ○ 課題：演習事例通読、演習事例についての事前学習(病態・治療・看護)、看護計画〈様式 2-1〉、〈様式 2-4〉 (事例に関する小テスト)	30分 180分	上野 西尾	
5	訪問看護に必要な基本的技術を習得する －訪問・面接技術・マナーについて、訪問看護の初回訪問の設定にて演習－	演習 (GW) (発表)	○ 予習：在宅看護論②の p14-17 を熟読（訪問、面接技術、マナーについて） ○ 課題：「初回ロールプレイから学んだこと」	30分 60分	上野 西尾 西村	
6	在宅看護における看護過程の展開方法を学ぶ (1) －療養者のとらえかた－	演習 (GW)	○ 課題：演習事例通読、演習事例についての事前学習(病態・治療・看護)、看護計画〈様式 2-5〉	120分		

7	在宅看護における看護過程の展開方法を学ぶ (2) —看護計画立案①—	演習 (GW)	○ 予習：演習事例再度通読し情報を確認し、不足している情報を確認する。 ○ グループの看護計画〈様式 2-6〉は、担当教員に提出しフィードバックを受け修正する。 ○ 復習（課題）：次回演習までに実践（ロールプレイ）ができるように実習室を使用して準備しておく。	60 分	上野 西尾 西村
8	在宅看護における看護過程の展開方法を学ぶ (3) —看護計画立案②—			120 分	
9	在宅看護における看護過程の展開方法を学ぶ (4) —看護計画実施① (看護計画発表およびロールプレイ)—	演習 (GW) (発表)	○ 復習（課題）：グループで作成した看護計画の評価・修正、担当教員に提出しフィードバックを受け修正する。	120 分	西村 西尾 上野
10	在宅看護における看護過程の展開方法を学ぶ (5) —評価、臨床判断モデルの活用—				
11	在宅看護における看護過程の展開方法を学ぶ (6) —看護計画修正、発表会—	演習 (GW) (発表)	○ 予習：不足していた病態生理・治療・看護などを調べ、〈様式 2-4〉修正 社会資源について事前学習（事例で活用できる社会資源） ○ 復習：看護計画実施の評価の振り返りおよび看護計画の〈様式 2-6〉修正	120 分	西村 西尾 上野
12	在宅看護における看護過程の展開方法を学ぶ (7) —全体像のとらえ方—			120 分	
13	在宅ターミナルケア (1) —在宅緩和ケアにおける疼痛コントロール—	講義	○ 予習：在宅看護論②疼痛管理を熟読 ○ 復習：在宅における疼痛コントロール	各 30 分	西村
14	在宅ターミナルケア (2) —在宅看取りに必要な意思決定への支援・家族への支援—	講義 (AL)	課題：在宅緩和ケアについて小テスト ○ 予習：在宅看護論② p 187-190 を熟読 ○ 復習：在宅ターミナルケア（ノートまとめ）	各 30 分	西村
15	在宅看護Ⅱのまとめ 演習課題・定期試験に関するフィードバック	講義 AB 合同	○ 復習：国家試験状況設定問題 在宅看護論②在宅事例	60 分	西村
先行履修科目	2 年後期までに履修すべき全ての科目				
テキスト	臺有桂他 編集：ナーシンググラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術。メディカ出版，2018.				
参考文献	波川京子他 編集：在宅看護学（第 5 刷増補新訂版）。クオリティケア，2016. 原礼子：プリンシプル在宅看護学。医歯薬出版，2015. 臺有桂 他編：ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア。メディカ出版，2019.				
評価方法	定期試験（50%），演習課題（小テスト含む）（50%）				
教員等の実務経験	看護師として外来や退院支援などでの臨床経験のある教員が、経験を踏まえ講義や演習を担当します。				
メッセージ	第 2 ～ 12 回は地域で生活する療養者とその家族への支援について一連の流れで学修します。予習・復習には教科書にある動画を活用しましょう。				